

## その他研究関連情報

### ●著書の紹介


食物アレルギー A to Z 第 2 版  
 医学的基礎知識から代替食献立まで  
 第 5 章 社会における対応の現状と対策  
 1 アレルギー表示の現状と対策

	著者：	神奈川芳行 今村知明
	発行者：	第一出版株式会社 加藤 友昭
	ISBN：	978-4-8041-1298-5
	定価：	3,400 円（本体 3,400 円＋税）
	発行日：	2014 年 3 月 28 日 第 2 版第 1 刷

公衆衛生がみえる  
 保健・医療・福祉・介護スタッフの共通テキスト  
 医療の質と安全の確保  
 食品保健

	監修：	今村知明
	発行者：	株式会社 メディックメディア 岡庭 豊
	ISBN：	978-4-89632-512-6
	定価：	3,600 円（本体 3,600 円＋税）
	発行日：	2014 年 3 月 14 日 第 1 版第 1 刷

<p><b>食品の安全とはなにか 第 2 版</b>                  食品安全の基礎知識と食品防御</p>		
	著者：	今村知明
	発行者：	コープ出版株式会社 和田 寿明
	ISBN：	978-4-87332-279-7
	定価：	1,000 円（本体 1,000 円＋税）
	発行日：	2015 年 3 月 10 日 第 2 版第 3 刷

<p><b>食品防御の考え方とその進め方</b>                  よくわかるフードディフェンス</p>		
	著者：	今村知明（編著） 高谷幸 赤羽学 神奈川芳行 鬼武一夫 森川恵介 長谷川専 山口健太郎 池田佳代子
	発行者：	公益社団法人日本食品衛生協会 高谷 幸
	ISBN：	978-4-88925-074-9
	定価：	3,000 円（本体 3,000 円＋税）
	発行日：	2015 年 4 月 15 日 初版

## ●受賞関係

賞名	研究業績	研究者氏名	受賞年月
第 33 回医療情報学連合大会(第 14 回日本医療情報学会学術大会) 座長推薦	核磁気共鳴装置 (MRI) の採算性の地域差に関する一考察: 都道府県別 MRI 一台あたり収支の推計とその格差の要因分析	今井信也、小川俊夫、今村知明	開催: 平成 25 年 11 月 20 日(木)~23 日(土) 神戸市、神戸ファッションマート
第 33 回医療情報学連合大会(第 14 回日本医療情報学会学術大会) 座長推薦	7 対 1 入院基本料の維持に関する一考察: 看護師配置時間数の月別変動の分析	北恵里加、小川俊夫、柳瀬匡平、今村知明	開催: 平成 25 年 11 月 20 日(木)~23 日(土) 神戸市、神戸ファッションマート
第 20 回奈良・横浜・京都バイオメカカンファレンス ベストプレゼンテーション賞	血管柄付き人工骨作製における骨芽細胞シートの有用性	中野健一、村田景一、清水隆昌、赤羽学、小島康宣、仲西康顕、吉良務、大西正宣、面川庄平、川手健次、田中康仁	開催: 平成 25 年 12 月 21 日(金) 奈良県、奈良県立医科大学
総務省中国総合通信局賞 (局長: 齋藤一雅) の平成 26 年度電波の日・情報通信月間記念式典	情報通信の発展に貢献し、その功績が顕著であった団体「まめネット」の取り組み	しまね医療情報ネットワーク協会 (理事 杉浦弘明)	開催: 平成 26 年 6 月 2 日(日) 総務省中国総合通信局 (局長: 齋藤一雅) の平成 26 年度電波の日・情報通信月間記念式典
第 88 回日本産業衛生学会 優秀演題賞	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査で要精密検査となった者の精密検査の結果とその治療効果について	神奈川芳行	開催: 平成 27 年 5 月 13 日~16 日 グランフロント大阪

## 共同研究

### ●学内の共同研究

#### ◆赤羽 学

1. 整形外科&リハビリテーション科  
医療需要の増加を加味した介護需要の推計に関する研究を行っている。  
再生の基礎実験とヒト細胞を用いた前臨床試験を行っている。  
人工材料の生体親和性を高める研究も行なっている。
2. 人工関節・骨軟骨再生医学  
ヒト幹指針を申請して、臨床応用するための大動物を用いた実験を行う予定。
3. 口腔外科  
顎骨の再生医療を目的とした基礎研究として、ラットを用いて、骨髄細胞から骨形性能を持つ骨芽細胞シートを作り、下顎骨の欠損部に移植して骨再生を得る研究を行っている。
4. 第一解剖学  
長残光蛍光体ナノ粒子を用いた癌細胞の無励起工型バイオイメーキングの研究を行っている。

### ●他大学との共同研究

#### ◆赤羽 学

1. 同志社大学・生命医工学  
骨再生医療の評価に有用な力学試験・ $\mu$ CT 撮影などを共同で検討してきた。
2. 京都大学  
シルクスポンジを用いた骨形成促進および軟骨再生に関する研究を行っている。
3. 東京工業大学&東京大学  
骨再生におけるカルシウムセンシングの研究を行っている。
4. 労働安全衛生総合研究所  
磁場の生体に対する影響の検討を行っている。

#### ◆野田 龍也

1. 日本航空医療学会  
2015 年度開始のドクターヘリレジストリー（全症例登録）・効果検証システムの立ち上げに、疫学・社会調査分野の中核メンバーとして参加している。

## ●企業との共同研究

### ◆赤羽 学

1. 三菱製紙株式会社  
ストロンチウムアパタイトを用いて材料表面を加工し、生体親和性を高める研究を行っている。
2. ユフ精機株式会社  
人工靭帯を用いた靭帯の再建に関する研究を行っている。
3. 京セラメディカル株式会社  
医療材料の生体親和性向上に関する研究を行ってきた。